

子の安全情報メール配信

京あんしんこども館(京都市中京区)が京都小児科医会と共同で、京都府内の保育園と幼稚園にメール「子どもの安全情報」を配信している。最新の感染症情報や子どもの事故情報などを毎週まとめており、長村敏生センター長は「園の職員が意識を高めるとともに、保護者に情報を伝えてほしい」と話している。

メール配信は、乳幼児が1日の多くの時間を過ごす保育園と幼稚園で安全に生活する

京あんしんこども館、各園に 最新の感染症や事故事例

ことを目的に2014年から京都市内の保育園と幼稚園に向けて始めた。京都府がまとめた感染症情報、国民生活センター「くらしの危険」、消費者庁「子ども安全メール」などの情報に加え、同館がまとめた「事故防止マニュアル」などを掲載。加熱式たばこの誤飲や水で膨らむボール玩具への注意など、事故防止に役立つ最新のトピックを伝えている。

全国でも唯一の取り組みで、メールアドレスのリスト

を毎年更新、22年から府内全域を対象を広げ、本年度は560園に配信している。園へのアンケートによると、89%が「有用」と評価し、多くの園が職員にメールを転送したり印刷して配布したりして情報を共有していた。

一方で、保護者への情報提供は3割強で、うち半数は掲示にとどまっていた。感染症や事故の情報は、保護者が個々に得ることは難しい。「保護者と園の連携強化にもつながる」として、送り迎え時に職員が保護者に情報を伝えるなどの活用を呼びかけている。

(稲庭篤)